

## 入選

### クラスで見つけた素敵

福岡県 宮ノ陣中学校

2年 上村一華

私のクラスでは、帰りの会するときクラスで見つけた素敵を班で1分間話しあい、発表するという『今日のお素敵』という活動をしています。

例えば、「〇〇さんが黒板を消すのを手伝ってくれました。」「〇〇さんがバケツを片づけていたのが良いと思いました。」など、クラスで見つけた小さな素敵を発表し合っています。

私は正直なところ、新しい学校になって始まったこの活動を「めんどうだな。」と、思うこともありましたが、また、班ではなかなか意見が出ず、困ることもありました。

ですが、1ヶ月が経とうとしていたとき、ふと思いました。

「クラスの雰囲気が変わったな。」

周りを見わたすと、配布物を手伝っている人、落とし物を拾っている人、黒板をそうじしている人など、教室中が当たり前のようになり、小さな親切でうめつくされていました。その中には、『今日のお素敵』で名前を呼ばれたいという一心で、親切なことをしている人もいました。

でも、この活動を始めた担任の先生は「それでもいい。」と、言いました。

「最初は名前を呼ばれたくて行っているけど、それがいつか習慣になっていけばいいんだから。」

それを聞いて私は、もうすでに習慣になりつつあるな、と思いました。一度『今日のお素敵』で名前を呼ばれたら、「〇〇さんがこんなことをしてくれて嬉しかった。」や、「良いと思いました。」

「素敵だなと思いました。」など、相手からの感謝の気持ちも伝わるから、「手伝って良かったな。」という気持ちになり、これからの行動につながっていくのだと思います。

新しいクラスになって2ヶ月以上たった今では、1日に数えきれないほどの親切があって、みんながそれに感謝できるようになり、帰りの会ではたくさんの意見が出され、クラス全体が成長したように感じられました。

私は、この活動を通して、親切なことも大切だけれど、どんな小さな親切でも見落とさずに気づいて、その人の良いところを見つけたり、クラスメイトが困っているときに、それに気づいて助けられるようになりたい、と思うようになりました。

私はこの小さな親切を、クラスだけではなく、これからは活かし、社会に広げ、「素敵な社会」づくりを目指そうと思います。